

日本木材学会 生物劣化研究会・木質文化財研究会 2012 秋季合同シンポジウム

「木質文化財を虫菌害から守るために」

日本は木の文化を持つ国であり、多くの貴重な木質文化財が継承されています。木質文化財の劣化要因は様々ですが、急速に内部まで進行する虫害や腐朽、外観を損なうカビ等から木質文化財を守ることは、特に重要な課題です。そこで今回は、生物劣化研究会と木質文化財研究会とが合同で、「木質文化財を虫菌害から守るために」をテーマにシンポジウムを開催します。

主 催 : 日本木材学会 生物劣化研究会・木質文化財研究会
協 賛 : 公益社団法人日本木材保存協会
後 援 : 公益社団法人日本木材加工技術協会

日 時 : 平成24年9月28日(金) 午後13:00~16:10
会 場 : 京都大学宇治キャンパス 木質ホール (京都府宇治市五ヶ庄)
京阪宇治線および JR 奈良線「黄檗」下車、徒歩 5 分

内 容 : 以下の通り、6 件の講演とパネルディスカッションを行います。

講演

1. 木質文化財の虫菌害—現状と対策—
独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所 木川りか氏
2. 虫菌害による被害と修復—仏像・絵馬・民具について—
財団法人 元興寺文化財研究所 植田直見氏
3. 木造建築物の被害調査
京都大学大学院 農学研究科 築瀬佳之氏
4. 木質文化財への薬剤の適用 (1) —燻蒸剤— 三井化学アグロ株式会社 松岡宏明氏
5. 木質文化財への薬剤の適用 (2) —防腐防蟻剤—
日本エンバイロケミカルズ株式会社 吉田慎治氏
6. 木質文化財への薬剤の適用 (3) —シロアリ駆除剤 (ベイト法) —
イカリ消毒株式会社 川越和四氏

パネルディスカッション

「点検・劣化診断をどう実施していくか」「文化財に薬剤をどう使うか」等の課題に対して、文化財関係者と生物劣化関係者がともに考えます。

参加費 : 1,000 円(資料代等として当日集金します。)

参加申込 : 9 月 22 日(土)までに、氏名、所属、連絡先をメールにてご連絡ください。

連絡先 : 酒井温子(奈良県森林技術センター) sakai-haruko@office.pref.nara.lg.jp
TEL:0744-52-2380(代)、FAX:0744-52-4400

備考 : 配布資料の印刷部数把握のため、事前に参加申し込みをお願いいたします。

なお、前日(27日)には、協賛の日本木材保存協会が、社寺建築等を対象とした木材劣化診断研修を京都で開催します。